

くまそう

vol. 31 26.
08.

summer season

Kumagaya
General
Hospital
News Letter

CONTENTS

診療科紹介 脳神経外科
委員会紹介 患者支援委員会
リハ科 ワンポイント講座
栄養科 低栄養予防
まちの医療機関
くまそうTOPICS



脳神経外科医長

渡邊 慶吾 先生



脳神経外科はどんな診療科？

みなさま、脳神経外科と聞いてどんなイメージをお持ちでしょうか？
もちろん「外科系」ですので「手術」を行うことを主体とした診療科です。

それでは、脳外科の手術と聞いてどんなことを想像されるでしょうか？「細かい」「難しい」など思われる方が多いのではないのでしょうか？

脳神経外科は比較的新しい診療科です。

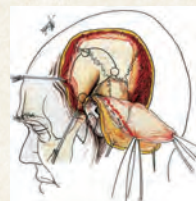
もともと大学の外科学講座の中の一つの診療科でしたが、1960年代以降に独立し専門講座となりました。ですが、手術としての歴史は古く、意外なことに、2000年前の「アンデス文明」まで遡ります。出土された頭蓋骨からきれいな孔の開いたものが多数みられたのです。



この時代の戦争というのは、現代のように銃や剣などがあるわけはなく、まずお互いに石を投げあう(投石)から始まり、接近して「こん棒」で殴り合うものだったようです。

かなり野蛮ですね。

この孔の開いた頭蓋骨を詳しく調べてみると、孔の周囲から治癒後の成長の痕がみられたそうです。このことから、手術後数年に渡り生存していたものと考えられます。また、その孔は頭蓋骨の左側頭部に多かったそうです。



みなさん、おわかりですね？ 敵が右手に「こん棒」を持って、相手の左側頭部をめがけて殴ったからです。それによって陥没した骨や頭蓋内の出血を取るために「孔」を開けたものと考えられます。そして、この「アンデス文明」が興った土地も影響します。現在のペルーにあるアンデス中央高地は麻酔効果のある「コカ」の葉や、止血効果のある生薬が多数生息しています。さらに標高は3000メートル以上で非常に乾燥しているため、細菌感染が少ないと考えられます。このような条件が重なって脳の手術(手術といってよいかはわかりませんが)が行われていたようです。これが現在の手術と同じように扱えるかはわかりませんが、患者を治療しようとする行為は「手術」といえるのではないのでしょうか？

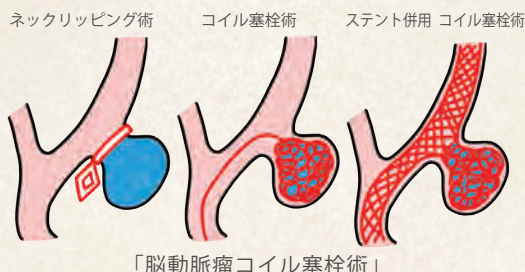
さて現代の手術はどうでしょうか？

脳の病気も様々です。

「脳腫瘍」「脳動脈瘤」「頭部外傷」など多岐にわたります。

まず、「開頭手術」についてですが、もちろん「全身麻酔」で行います。皮膚（頭皮）を切って、骨をドリルであけて、脳を露出します。これだけで1時間近くかかります。そのあとに、「手術用顕微鏡」を用いて脳内の作業を行います。「脳」という臓器は非常に脆弱で、繊細な臓器ですので、できるだけ傷つけないように手術を行っていきます。次に、新しい治療の代表例として「脳血管内手術」が挙げられます。太ももや腕の血管にカテーテルを挿入し、脳の中の病気を治療するものです。治療をおこなう疾患も、くも膜下出血を引き起こす「脳動脈瘤」や、脳梗塞の原因となる動脈狭窄・閉塞病変、さらには血管奇形、脳腫瘍など様々です。最近では、脳梗塞の超急性期に「脳血栓回収術」を行うこともあります。

医学の長い歴史においては、「脳血管内手術」は非常に「若い」ものです。しかし、非常に短い時間の中で、急速な進歩、発展を遂げた数少ない分野の一つであるともいえます。



私たちは、さらにこれからも進歩を続ける治療技術を習得するために、絶えず研鑽し、地域みなさまに貢献していきたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



アンギオ（血管造影検査）導入 2026.1.6

脳神経外科 医師体制

		月	火	水	木	金	土	
午前	1 診	布施	上田	掛川	※布施	掛川	白畑	※木曜日の布施医師は第1, 3, 5 木曜日の診察となります。
	2 診	渡邊	非常勤	吉川		藤田	掛川	
	3 診	細野		笹川	非常勤			笹川医師の外来は第5週以外の診療です。
	脳血管内治療科	渡邊						
	物忘れ・認知症			◇平田				
午後	一般・脳腫瘍				非常勤 (第2,4週)			
	脳血管内治療科					渡邊		13:30~16:00までの受付です。

くまそう HP
- 脳神経外科 -



社会医療法人

熊谷総合病院

〒360-8567 埼玉県熊谷市中西4-5-1

TEL: 048-525-6779 (地域連携室直通)

FAX: 048-525-6769 (地域連携室直通)

<https://www.kumasou.or.jp/>



患者支援委員会は、前身である「入退院支援委員会」としてスタートしました。当初は、患者さんが安心して入院・退院できるよう、業務の流れを見直したり、各部門がお互いの役割を理解するための勉強会を重ねたりしながら、より良い支援体制づくりに取り組んできました。現在は「患者支援委員会」として、地域連携チームやACPチームをはじめとするさまざまな専門チームが活動しています。多職種がそれぞれの専門性を活かしながら連携し、患者さん一人ひとりに寄り添った支援ができるよう取り組んでいます。

円滑な入院支援に向けて

「良い退院支援は、良い入院支援から」という考えのもと、入院時のご案内や情報収集の方法を見直してきました。入院案内パンフレットの改訂や情報収集内容の充実を進め、患者さんやご家族が安心して入院生活を始められる環境づくりに努めています。



多職種がお互いを知る取り組み

毎月、参加部門が持ち回りで勉強会を開催しています。病院にはさまざまな職種があり、それぞれ役割や専門性は異なります。だからこそ、お互いを知り、理解を深めることがより良い患者支援につながると考えています。学び合いを通して、多職種連携の輪を広げています。



患者支援委員会 会議の様子

倫理カンファレンス

院内で実施された倫理コンサルテーションチームの事例を共有し、日々の診療や支援の中で生じる倫理的な課題について話し合っています。多様な視点から意見を交わすことで、より良い支援のあり方を考える機会となっています。

各専門チームの活動

委員会では年間計画に基づき、さまざまな専門チームが活動しています。

- ACPチーム
- IBDチーム
- 重症患者初期支援チーム
- 地域連携チーム
- クリニカルパスチーム
- 摂食嚥下チーム
- 小児地域連携チーム
- がん相談チーム
- ADL維持向上チーム



それぞれの専門性を
活かしながら
患者さんを
支えています。

テーマ別カンファレンス

その時々的重要なテーマについて、多職種で意見交換を行っています。最近では「入院患者さんの肺炎予防」をテーマに、誤嚥性肺炎を防ぎ、安心して療養・退院につなげるための取り組みについて、原因の分析から具体的な対応策まで活発に検討を行いました。

地域とのつながりを大切に

患者さんが住み慣れた地域で安心して生活が続けられるよう、「地域につなぐ」ことを大切なテーマとしています。当院の病院機能だけでなく、訪問看護ステーションや訪問リハビリテーションとの連携に加え、地域の医療機関や介護施設、居宅介護支援事業所などとも協力しながら、切れ目のない支援を目指しています。



患者支援委員会は、これからも多職種が力を合わせ、患者さんとご家族に寄り添った支援を大切にするとともに、地域とのつながりを深めながら、安心して暮らせる地域づくりに貢献してまいります。





リハビリテーション科 ワンポイント講座

いつまでも元気な脳で いるために

～認知症予防は今日から始められます～

リハビリテーション科
作業療法士

茂木 智奈

リハビリテーション科
作業療法士

佐々木 楓

“認知機能を低下させる2つの原因” 認知機能の低下には、大きく分けて2つの原因があります。



1. 血管を傷めること

脳が元気に働くためには、十分な血液の流れが必要です。喫煙、高血圧、脂質異常症、糖尿病などは血管を傷める原因となります。傷んだ血管は細くなったり詰まったりして、脳へ届く酸素や栄養が不足し、認知機能の低下につながります。



2. 頭や身体を使わないこと

身体を動かさないと筋肉が衰えるように、脳も使わなければ働きが低下します。家に閉じこもりがちな生活は、心身の機能低下を招きます。脳と身体を適度に使うことが、認知機能を健康に保つために大切です。

認知機能を保つための6つの習慣 認知機能を健康に保つためには、日々の生活習慣が重要です。



1. 朝日を浴びよう

毎日同じ時間に起きて朝日を浴びることで、体内時計が整い、規則正しい生活につながります。



2. 定期的に運動しよう

散歩やストレッチ、筋力トレーニングなど、無理のない運動を続けましょう。



3. 人と交流しよう

家族だけでなく、地域活動やボランティアなどを通して人とのつながりを持ちましょう。



4. 趣味を楽しもう

好きなことや新しいことに挑戦することは、脳への良い刺激になります。



5. 外出しよう

外出は身体活動だけでなく、さまざまな刺激を受ける機会になります。意識して外へ出かけましょう。



6. 持病を治療しよう

高血圧や糖尿病などの生活習慣病は認知症の危険因子です。定期的な受診や健診を心がけましょう。



できることから始めていきましょう!

低栄養予防

栄養科



管理栄養士 新井 恵美子

低栄養とは、

エネルギー・たんぱく質が欠乏した状態で、健康な体を維持し活動するのに必要な栄養素が足りない状態です。

夏は暑さにより食欲が低下してしまい、栄養が不足する可能性があります。

食欲がないときは、「パンや麺、おにぎりだったら食べられる」という方が多いのではないのでしょうか。パンや麺、おにぎり等は主にエネルギー源となります。

このエネルギー源に良質なたんぱく質(肉・魚・卵・大豆製品・乳製品)を組み合わせることにより低栄養の予防につながります。



～食事のワンポイントアドバイス例～

* 食パンに卵またはツナをのせる



* 麺に肉または卵を入れる



* おにぎりの具は 鮭・ツナ選ぶ



鮭おにぎり

ツナマヨおにぎり

* スーパーやコンビニなどで手軽に手に入る食品(温泉卵・茶碗蒸し・魚の缶詰・サラダチキン・ヨーグルト・五目豆等)の活用。



* 食事があまり摂れないときは、ゼリーやドリンクタイプの栄養補助食品等を活用することにより少量でもエネルギー・たんぱく質を摂ることができます。



低栄養を予防するためには、毎食適量のエネルギー・たんぱく質の摂取と適度な運動を組み合わせることが必要です。また、野菜を組み合わせることにより、ビタミンや食物繊維を摂取できます。バランスのよい食事を心がけましょう。

注)疾患により食事制限の指示がある場合は主治医にご相談下さい。

参考資料:日本人の食事摂取基準 2025年

まちの医療機関

No.036

山本内科胃腸科医院

TEL:048-521-7371

■診療科 内科・胃腸科・小児科

■住所 熊谷市大原 1-1-33

■院長 河津 千絵 先生

■駐車場 7台

■診療所の特色

地域のかかりつけ医として、来院していただけるよう
アットホームな診療を心がけております。

■院長先生のモットー・大切にされていること

- ・特定健診・がん検診、予防接種などで病気を予防し、早期発見を心がけます。
- ・患者様やその家族の気持ちに寄り添った診療を行います。
- ・総合内科専門医のセルフトレーニング問題を毎年問き、講演会にも参加して知識を up dateし 診療に還元します。



	月	火	水	木	金	土	日
AM 9:00~12:30	●	●	●	●	●	●	-
PM 14:30~18:00	●	●	-	●	●	-	-

■ 休診 水・土(午後)・日・祝です。

No.037

根本医院

TEL:048-555-1260

<https://www.nemoto-iin.com/>



■診療科 内科・小児科

■住所 行田市行田 10-22

■院長 根本 和雄 先生

■駐車場 10台(歯科共用)

■診療所の特色

1. 訪問診療を行なっています。
2. 血液疾患(貧血、白血病、リンパ腫等)の外来治療を行います。

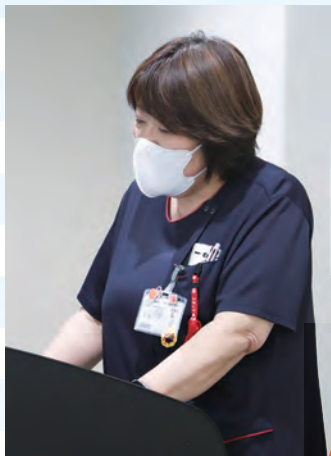
■院長先生のモットー・大切にされていること

患者様1人ひとりのニーズに合わせ、ていねいな治療を行い、健康増進及び病気の予防に寄与していきます。

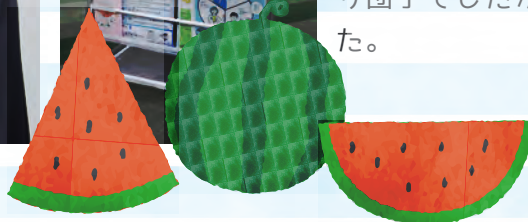


	月	火	水	木	金	土	日
AM 9:00~12:00	●	●	●	●	●	●	-
PM 15:00~17:00	●	●	●	-	●	●	-

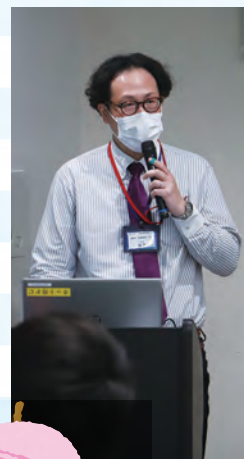
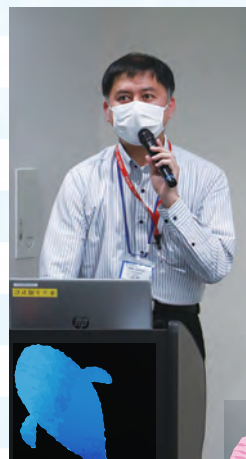
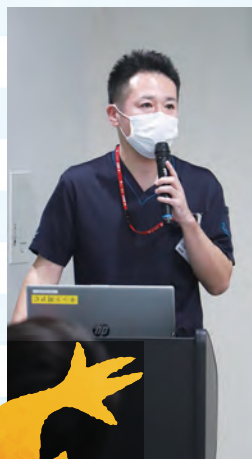
■ 休診日 木・日・祝

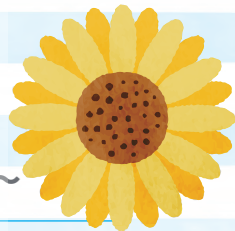


今年度初回のkumakumaカフェを4月10日に開催いたしました。今回は治療と日常生活ということで、副作用に対するちょっと困ったことや、日常生活の工夫など実践できることを中心にお話しました。プチ講義のあと皆さんで近況を話し、「桜」をお題にしてイメージできるものなど皆さんでトークしました。今回は桜餅で盛り上がり、花より団子でしたが春を感じられる皆さんのお話でした。



4月10日に今年度初の全体対面研修が行われました。ポストコロナの現在、オンライン中心だった研修会を一部対面研修へと移行しており、昨年10月以来の対面研修となりました。当日は、褥瘡対策委員会・電子カルテシステムチーム委員会・個人情報保護委員会が担当し、それぞれの分野について、トピックスを中心に研修が行われました。オンラインと異なり、講師側、受講側も直接コミュニケーションが取れるため、緊張感がありながらも有意義な研修時間を過ごすことができたと感じています。次回は10月に対面研修が行われる予定です。





5/16

熊谷市自立支援協議会 医療的ケア児者・重症心身障害児者支援部会発足記念講演会

移行期医療を考える ～この地域で暮らし続けるために～

移行期医療とは、子ども時代は小児科で治療を受けていた慢性疾患の患者さんが、成長に伴って大人の診療科へ移り変わるための準備・移行の時期のことです。

第1部は「医療的ケア児者・重症心身障害児者の成人移行支援」として国立成育医療研究センターの総合診療部の窪田充先生の講演をいただき、第2部は「当事者・家族と語る移行期医療」として座談会を開催しました。県内より多くの職種、施設より約80名の参加がありました。



6/12

2026年 第2回

KumaKumaカフェ

ゲリラ雷雨の中でしたが予定通り開催できました。今回は薬剤部より「薬とのつきあい方」をお話いただきました。治療薬の種類 副作用の出現時期と対応、治療中の困ったこと、治療後の対応などお話しがありました。薬剤師さんと一問一答の形でお話が進みました。帰りの時間は雨も上がり帰宅の不安なく終了しました。次回は8/14に栄養科から「食事と体調」についてレクチャーになります。

Kumakuma カフェのご案内

がん患者サロン「Kumakuma カフェ」は、がん患者さんやそのご家族の方が交流ができる場所です。ご家族だけでも構いません。お話を通して情報交換しませんか？

8/14(金)

食事と体調

10/9(金)

無理のない体の使い方

6/12(金)

薬とのつきあい方

12/11(金)

お金と制度

4/10(金)

治療と日常生活おしゃべり会

2/12(金)

気持ちの整理

★開催時間

各回 13:30～

★お問い合わせ

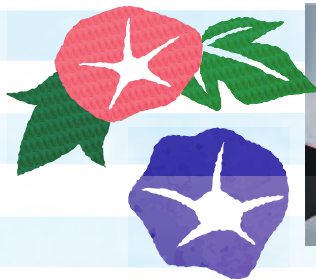
がん相談支援センター

(患者サポート室内)

TEL:048-525-6779(直)

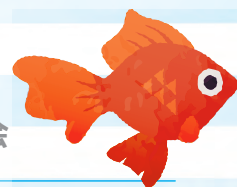
※予約なく参加する場合があります
HP等でご確認ください

熊谷総合病院



6/18

2026年度 新入職員フォローアップ 教育委員会



今回の研修では、自分とは異なる考え方を理解し、相手に合わせて伝え方を工夫することの大切さを学びました。こうした姿勢は、円滑なコミュニケーションやチーム医療の実現につながります。教育委員会では、今後も一人ひとりの成長を支援し、安心して働ける職場づくりと、より良い医療の提供に貢献できる人材の育成に取り組んでまいります。



6/20

令和8年度 @埼玉県看護協会研修センター
埼玉県看護協会会長表彰

埼玉県看護協会会長表彰者 当院の看護部 田島 幸恵さんが表彰されました。この度、このような賞を頂き大変恐縮しております。感謝の気持ちを忘れず日々精進していきたいと思っております。有り難うございました。



7/17

第10回 がん薬薬連携研修会
(他施設 院外薬局の薬剤師を対象)

今回の研修会では少しコンセプトを変更して、外科診療部長の平山信男先生よりACPと薬剤師の関わりについて講演して頂きました。継続して地域と連携を行い、がん薬薬連携研修会をブラッシュアップできるよう取り組んでいきたいと考えています。



7/20.21.22

関東一の祇園
熊谷うちわ祭 救護所

酷暑日に近い暑さの中で熱中症症状で救護所を利用される方がほとんどでした。今年は救護所が複数箇所に分散されたという話を聞きました。そのためか1箇所に来る人数は少なく感じられました。



くまそう 院内マップ 1F～3F

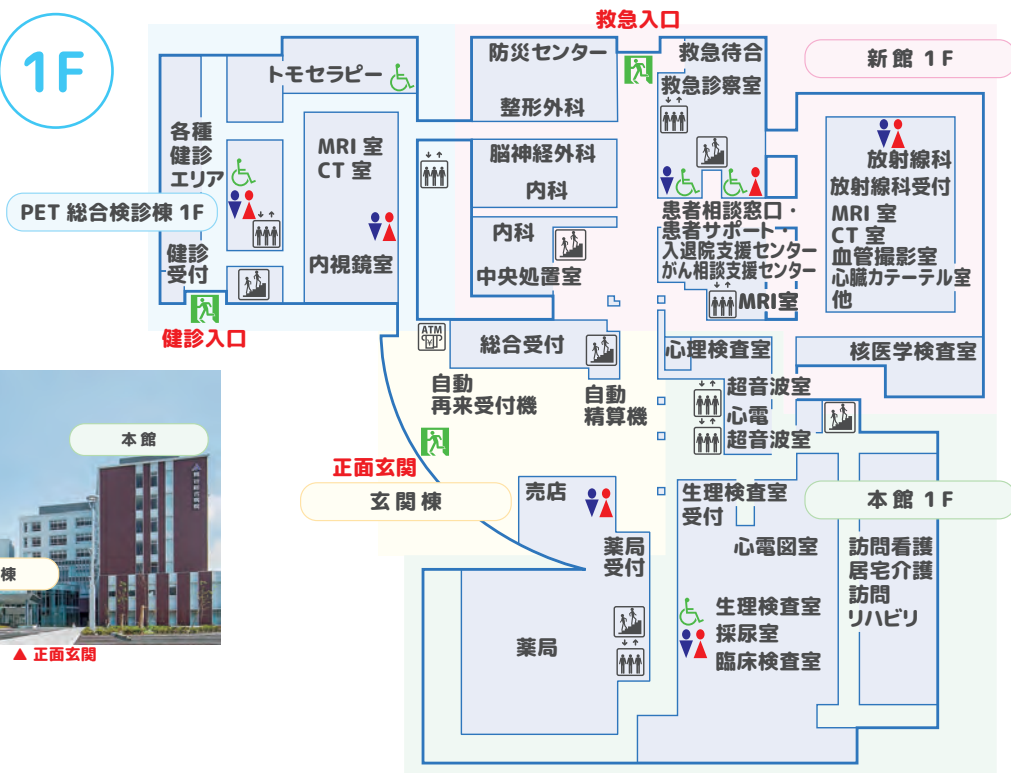


くまそう QI(クリニカルインディケーター)

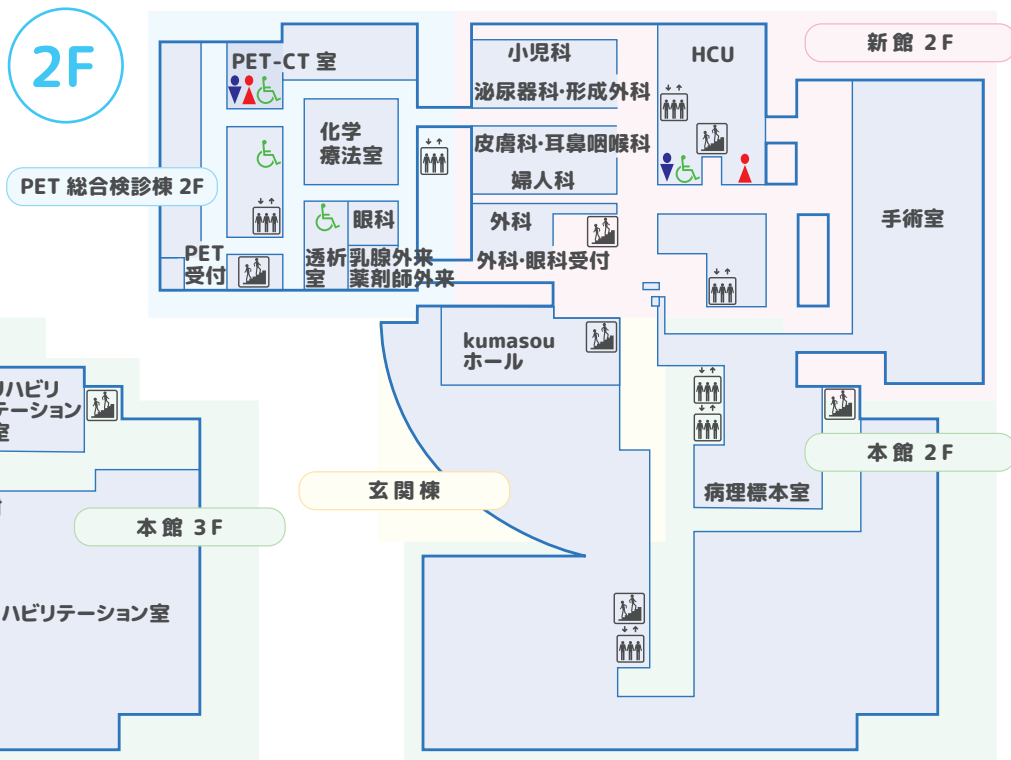
紹介初診数	846
紹介率	70%
逆紹介率	88%
救急搬送件数	376
うち小児科	22
平均在院日数	11.4
手術件数(手術室)	329
病床稼働率	94%

2026年6月

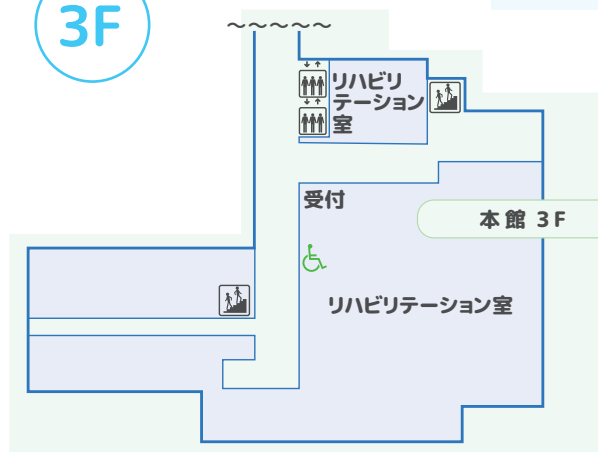
1F



2F



3F



病院理念

わたくしたちは、この地に歴史をきざむ熊谷総合病院に勤める医療人です。
わたくしたちは、この地にふさわしい専門的視野と未来への展望に立って、ここに新生熊谷総合病院の病院理念を制定いたします。

- 一. わたくしたちは地域の一員として、すべての患者さんを心あたたかく迎え入れます。
- 一. わたくしたちは地域の医療を常に高く保つため、みずから進んで学習します。
- 一. わたくしたちは地域の未来をになう若き医療人の育成に励みます。
- 一. わたくしたちは地域の必要に応える最新医療を提供し続けます。

そしてわたくしたちは地域のあらゆる機関と協力して世界に誇れる病診連携をこの地、熊谷に築きあげます。



日本医療機能評価機構
認定第JC2211号
機能種別版評価項目
(3rdG:Ver2.0 一般病院 2)

社会医療法人
熊谷総合病院

〒360-8567 埼玉県 熊谷市 中西 4-5-1

TEL : 0570-099-080 (ナビダイヤル)

FAX : 048-523-5928 (代)

<https://www.kumasou.or.jp/>



くまそうHP



LINE友、インスタ友 募集中!!

